

9月定例会最終日・その2

放課後児童クラブ負担金引上げで討論



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

9月定例会10月3日最終日、討論と採決が行われました。放課後児童クラブ保護者の負担金引上げ条例に対する振角議員（無会派）の反対討論と磯谷議員（天翔クラブ）の賛成討論が行われました。その概要は次のとおりです。討論の概要を掲載します。実際の討論は議会ホームページの録画配信をご覧ください。

反対討論のありまし

職員の待遇改善をなごなご

振角議員は次の2点を理由に反対しました。日本共産党米原市議団も賛同し引き上げについて反対しました。

その第1の理由は今回の値上げが、職員の処遇改善につながるものではないことです。これまでも放課後児童クラブを実施している団体から次のような問題点が指摘されていることを挙げています。①現状の給料では職員を募集しても集まらない。②専門的な知識を有する職員の雇用が難しい。③長期的な雇用が難しいとの処遇改善を求める声がかかされていないと指摘しました。

夏季の負担が大きい

第2は長期休業期間のうち夏季の値上げ幅が大きく前回の値上げの際に、長期休業期間の値上げがなかった結果、今回5,000円の大幅な値上げになり、その結果・保護者の利用料の大幅な負担増になること。また通えない子どもが出ると、子どもが安心・安全にすぎ

せる児童館のような公設の施設が少ないため、子どもたちの育ちの観点から不安があることを反対理由としました。

賛成討論のありまし

磯谷議員は次の理由で引上げに賛成しました。

放課後児童クラブの年間利用者は、市内全児童の28%であり、夏休みを含めると44%の利用率である中で、受益を受けない方、サーブスを利用されない方にも目を向ける必要があるという考えの下に、受益者に適正に負担していただくことを念頭に直しを行ったとされておき、負担金を適正に引き上げることで5年前と同様に支援員等の更なる処遇改善に取り組み環境が整うこ

利用形態	改正前	改正後
年間利用負担金	月額 9,000円	月額 10,000円
4月春休み期	期間 3,000円	期間 4,000円
夏休み期	期間 13,000円	期間 18,000円
冬休み期	期間 3,000円	期間 4,000円
3月春休み期	期間 3,000円	期間 4,000円
土曜日利用	月額 3,000円	月額 4,000円

議員名	会派名	第53号放課後児童クラブ条例一部改正案
山脇正孝	日本共産党市議団	×
藤田正雄	日本共産党市議団	×
山口久志	天翔クラブ	○
鹿取和幸	天翔クラブ	○
磯谷晃	天翔クラブ	○
矢野邦昭	天翔クラブ	○
今中力松	天翔クラブ	議長
中川松雄	天翔クラブ	○
鏑田明	天翔クラブ	○
中川雅史	政策研究会マイバラ	○
堀江一三	政策研究会マイバラ	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	○
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○
振角大祐	無会派	×
細野正行	無会派（公明党）	×
結果		可決

雑感

10月9日滋賀県母親大会を長浜市民交流センターでライブ視聴しました。本場の会場は栗東市の「さきら」で開催されましたが、ライブ配信がされていたので有難かったです。その講師のブロードイバーである武本匡弘さんが「海から見える地球が気候危機も核もな世界へ」と題して記念講演をされました。1985年にダイビング会社を立ち上げ、その後その会社を後継者に譲り、ヨットを購入してプロジェクトを立ち上げ、実際の海の変化を追っておられます。なによりも海に潜り、地球温暖化や海洋プラスチック問題を肌で感じ、記録することを中心に活動されています。その行動力に感銘を受けました。また平和の問題にも気づかされました。アメリカ軍の死滅している写真にショックを受けました。また平和の問題にも気づかされました。アメリカ軍の死滅している写真にショックを受けました。また平和の問題にも気づかされました。アメリカ軍の死滅している写真にショックを受けました。また平和の問題にも気づかされました。